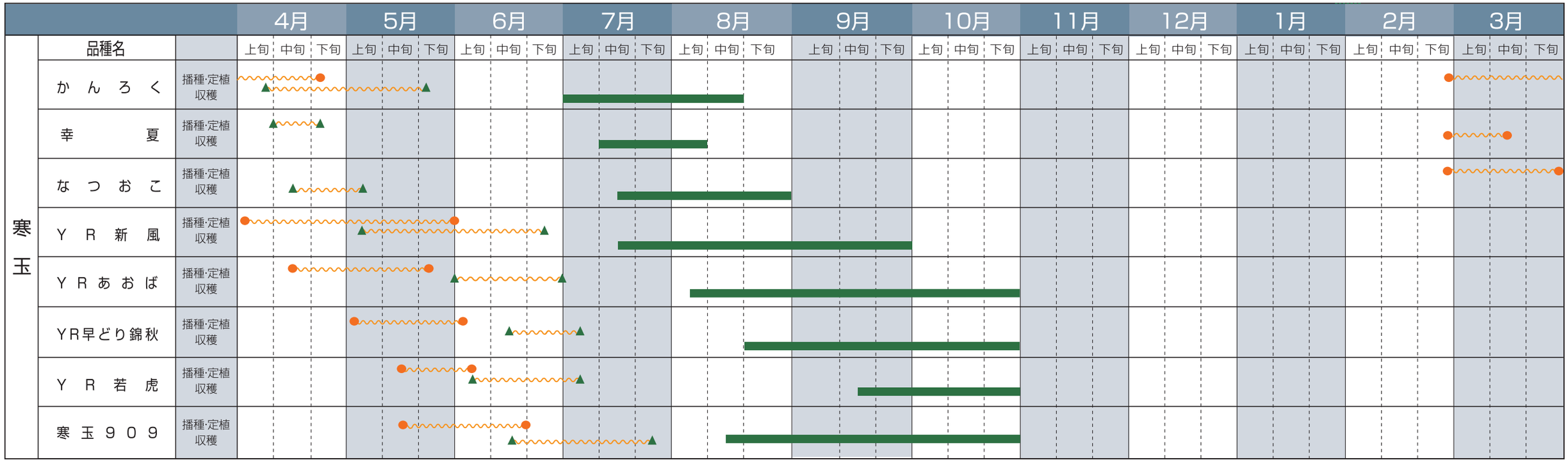
キャベツ周年栽培スケジュール 高冷地

凡例（浜松地方標準）●播種 ------育苗期間 ▲定植 ━━収穫期間



■マスダおすすめ品種（平暖地・高冷地）の栽培ポイント

地域によって栽培留意点が異なりますので、ご不明な点はお問い合わせ下さい。

かんろく P27

各産地の一番早く収穫できる寒玉系品種群タイプ。秋まき早生タイプだが、黒葉系の濃緑色系品種なので寒玉の血が強く感じられる。草姿はややコンパクトではあるが、玉揃いが良く密植が可能で、玉は適期で1.35kg前後のＬ玉で揃うと好評。

幸夏（リーフレット対応）

平暖地は５月中下旬から、高冷地７月中旬から収穫が可能な在圃性の高い寒玉。外葉はブルームが強い緑色。開張性でコンパクトな形状である。玉の内部のしまりが非常に良く重量がのる。また芯が低いため可食部も多い。

なつおこ P28 P40

平暖地は5月下旬から、高冷地は7月下旬から収穫が可能な在圃性の高い寒玉。
玉は扁円球で、馬力があり玉太りが良い。

ＹＲ新風 P8

耐暑、耐病性強く、良質の平型扁円球。裂球遅く、萎黄病抵抗性種で三季まき可能な寒玉。高冷地４月～５月まきで、８月～９月収穫、平暖地は、秋まき翌春定植で６月～７月収穫に適する。外葉は丸葉で開張性、草姿はＹＲ耐病ＳＴと似ている。比較して葉柄短くコンパクトで密植に適し、球の勝ち負け少ない。

ＹＲあおば P7

黒葉サクセッション系で良質な中生種。平暖地の秋まき６月どり、高冷地の春まき９月～１０月どりに最適。高冷地の夏どり栽培は黒腐病が出易いので、多肥栽培に注意する。又、生育初期より薬剤（銅製剤）散布を徹底して行なうことにより発病がおさえられる。

ＹＲ早どり錦秋 P6

玉揃い良く一斉に収穫でき、萎黄病抵抗性強く、形のよい良質多収種。ＹＲ錦秋強力１５２より約１週間早生となり、肉質もやや良質の寒玉で、サクサク感のある食感で品質よく市場性が高い。高冷地は９月～１０月どりに最適。

ＹＲ若虎 P5

外葉はブルームの強い緑色。開張性でコンパクトな形状だが球伸びは良好な品種。
在圃性が高く、裂球は遅い。玉は葉脈がはっきりしているため、より新鮮さが感じられる。
また内部のしまりが非常に良く、芯が低い。

寒玉９０９ P8

外葉は開張性で青が強くコンパクトに仕上がる。
玉は太りが良く重量ものり、芯は低く可食部も多い。
耐倒伏性に優れているため収穫期の玉の腐りが少なく安定した収穫が可能である。